

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 ESD部の創部

地域との連携活動を中心に、学校全体のESD活動を総括する目的でESD部を設置した。以前より行っていた地域連携プロジェクトも同部が引き継いだ。今年度、日進市子ども大会の「子ども省エネ教室」にて、日進市環境課と連携し、ワークショップファシリテーターを務めた。また、ユネスコスクールである長久手市立東小学校の学習発表会で中部大学国際関係学部と3校で民族楽器のコーラセッションを行うなど、日進市内に限らず近隣地域と活動をすることができた。

2 総合的な学習の時間におけるESD概論科目（3年生対象）

3年生の総合的な学習の時間は科目選択制を採用しているが、そこに新たにESD概論科目を設定した。この講座は、課題解決能力や論理的思考力、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などを育むことを目的として設定された。初年度は生徒30名程度がこの講座を受講した。「ESDとは何か」ということから学習を始め、ユネスコスクールである本校と中部ESD拠点である中部大学について、またESDの諸領域についての具体例を学んだ。2学期からはグループごとにテーマを設定し、グループ研究を行った。そして各グループが発表を行い、ESDについての理解を深めた。

3 総合的な学習の時間における国際理解学習と平和学習（2年生対象）

2年次の総合的な学習の時間において、独自教材を使用し、修学旅行で訪れるシンガポールと長崎（選択制）についての事前学習を行った。事前学習では訪問地の文化や歴史などを学習した。社会、理科、英語という教科を横断的に取り入れた学習を行い、各生徒にシンガポールや長崎への訪問の課題を持たせ、現地での体験を通して一連の国際理解や平和学習となるプログラムを構築した。

4 各教科・科目におけるESD視点の見直し

授業内容の見直しを一部の教科で行い、シラバスに持続可能な社会作りの6つの構成概念と学習指導で重視する7つの能力を明記し、ESD視点の見える化を図った。来年度は全科目でESD視点を見直し、授業の充実を図る。

5 フェアトレード活動

フェアトレードの店から自分たちで商品を選び、文化祭で世界の現状を紹介するとともに、フェアトレード商品の委託販売を行った。文化祭で作成したパネルは日進市のイベントでも使用された。

6 ユネスコ世界寺子屋運動 書き損じはがきの回収

当たり前教育を受けることができない子どもが世界中に多くいるという現状を学んだ。名古屋国際センターにも協力いただき、展示発表と書き損じはがきの回収を行った。

7 ESD普及活動 ユネスコスクール・ESD通信の発行

ESD活動の活性化を目標に、交流会やホームページ等を通してESD通信の校内外への発信を行った。Vol.10～Vol.12までを発行した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ESD部・国際交流部・科学部の活動）